



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

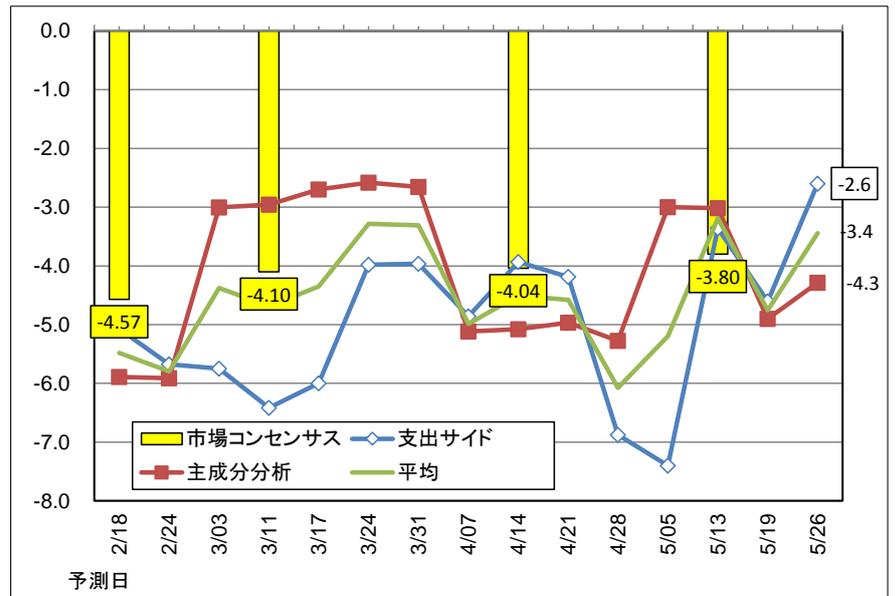
内容に関するお問い合わせは下記まで  
e-mail: inada-y@apir.or.jp

# 日本経済(週次)予測(2014年5月26日)

## ポイント

- ▶今回予測で更新されたデータは、4月の貿易統計及び3月の機械受注統計で、これらは、民間企業設備及び純輸出の予測に影響を与える。
- ▶3月のコア機械受注は前月比+19.1%大幅増加した。実績値は事前予測を上回ったため、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から上方修正された。
- ▶4月の輸出金額は事前予測を上回ったため、4-6月期の実質財貨・サービス輸出の予測値は先週から上方修正。一方、4月の輸入金額は事前予測を下回ったため、4-6月期の実質財貨・サービス輸入の予測値は先週から下方修正された。結果、4-6月期の実質純輸出の予測値は先週から大幅上方修正された。
- ▶今週(5/26)の超短期モデルは、4-6月期の実質 GDP 成長率を前期比-0.7%、同年率-2.6 と予測。先週(-4.6%)から上方修正となった。純輸出と民間企業設備の予測値が先週から上方修正されたためである。

CQM 予測の動態：実質 GDP 成長率  
2014年4-6月期 (%、前期比年率換算)



### <4月貿易赤字の縮小で、4-6月期のマイナス成長は幾分緩和>

今回更新されたデータは、4月の貿易統計、3月の全産業活動指数、全産業供給指数、景気動向指数(改訂値)及び機械受注統計である。これらのデータは、民間企業設備及び純輸出の予測に影響を与える。

3月のコア機械受注は前月比+19.1%大幅増加した。比較可能な05年度以降で最大の伸びを記録。結果、1-3月期は前期比+4.2%と4期連続のプラス。1-3月期見通しから上振れ、また4-6月期の見通しも+0.4%と小幅ながら5期連続の拡大。3月実績は事前予測を上回ったため、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から上方修正された。

4月の貿易収支(季節調整値)は38ヵ月連続の赤字となったが、前月比-48.1%縮小した。2ヵ月ぶりのマイナス。結果、4月の貿易赤字は1-3月平均比-44.1%縮小。4月の輸出金額は前月比+0.6%と2ヵ月ぶりのプラス。実績値は事前予測を上回ったため、4-6月期の実質財貨・サービス輸出の予測値は先週から上方修正(前期比+1.1%→同+2.3%)。一方、4月の輸入金額は同-9.9%と2ヵ月ぶりのマイナス。実績値は事前予測を下回ったため、4-6月期の実質財貨・サービス輸入の予測値は先週から下方修正された。輸出の予測値は先週から上方修正、輸入の予測値は下方修正されたため、4-6月期の実質純輸出の予測値は先週から大幅上方修正された。

今週(5/26)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質 GDP 成長率を前期比-0.7%、同年率-2.6 と予測。先週(-4.6%)から上方修正となった。純輸出と民間企業設備の予測値が先週から上方修正されたためである。4-6月期は純輸出(前期比+0.7%)が拡大に転じ、内需が駆け込み需要の反動で大きく縮小(前期比-1.3%)する。内需の落ち込みは避けられないが、純輸出の改善が大幅マイナス成長を緩和してくれる。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。  
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。  
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 [contact@apir.or.jp](mailto:contact@apir.or.jp) 06-6485-7690